（様式１）

県立玉造工業高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

（１）分かる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。
（２）基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。
（３）望ましい勤労観や職業観の育成に努める。
（４）学校行事の充実ならびに、部活動及び奉仕体験活動の活発化を図る。
（５）中学校や地域との連携を図り、開かれた学校づくりに努める。
（６）安全で衛生的な環境づくりを目指し、心身ともに健やかに学校生活を送れるように努める。
（７）校務の改善、学校行事の見直しに努める。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働かせ、工業の果たす役割を総合的に学習することにより、自らの在り方、生き方を考えながら、他者を認め合い、仲間と協力して課題を解決する力を育む。

（１）至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解して、適切な技能及び技術を習得する。
（２）地域社会で活躍できる工業人を育成する。
（３）規律ある工業人としての態度を育成する。
（４）すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。

総合的な探究の時間の学習評価

〇ワークシートや振り返りシートなど、課題に対しての取り組みを総合的に評価する。
〇発表資料や発表方法などを総合的に評価する。
〇振り返りシートを活用し、目標に対しての達成度を評価する。
〇定期的に行ってきた学習活動の状況を評価する。

生徒の実態

〇学習習慣を身に付ける必要がある生徒がいる。
〇生活習慣が乱れ、遅刻や欠席が多い生徒が見受けられる。
〇将来に向けた進路意識が低く、目的意識が定まっていない生徒が多く見受けられる。

生徒の発達をどのように支援するか
〇配慮を必要とする生徒への指導

・スクールカウンセラーとのカンファレンス
・スクールカウンセラーによる研修会
・中学校との情報共有と管理
・校内での特別な支援を必要とする生徒への対応研修会

目指す生徒の姿

〇授業や家庭学習など学習習慣の確立
〇真剣に授業に取り組む生徒
〇基本的生活習慣を確立した遅刻、欠席の少ない生徒
〇将来の目的意識を持ち、自ら進路に向かい努力する生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力 ）

〇環境の変化
・これから始まる高校生活について、今までとの違いに気づき、スムーズな高校生活をスタートする。
〇中間考査に向けて
・周りと話し合いを行いながら、様々な勉強方法を知り、基礎学力を上げる。
〇進路探究Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ　「外部講師講話から高校生活を考える」
・これからの学校生活をとのように過ごしていかなければならないのか、探究する。
・卒業し工業人として活躍するための自主自立、自由と責任について学ぶ。
・学校と会社の違い、礼儀作法等について学ぶ。
〇進路探究Ⅱ、Ⅲ
・これから学んでいきたい学科選択について探究し、希望する学科、その他の学科についても調べ、自分の特性に合った学科を考えられる。
〇「１８歳で大人になる」
・１８歳での必要な道徳心を養う。
・環境問題を中心に、公徳心を学ぶ。
・工業人として規則・決まりを守ることは安全上大切なことである。インターネット等を活用して礼儀を学び、お互いの友情と寛容な心を学ぶ。

学習活動、指導方法等

〇グループ内で他人の考えを聞き、課題について話し合う。

〇進路講話を通して、進路希望実現に向けての高校生活のあり方や、企業や進学先がどのような人材を求めているのかなどについて、グループでの話し合い。

〇話し合った課題についてインターネット等を利用して調べ学習を行い、集めた情報をグループ内で分析する。

〇調査、分析、発表を行うことで自己受容と他者受容する姿勢を身に付け、共感することで自己肯定感を養う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

（校内）
〇生徒の基本的生活習慣や目的意識の確立
〇ICT を利用した調べ学習
〇教科横断的な学習環境
（外部）
〇近隣企業との連携（進路講話・企業見学等）
〇キャリア教育の推進（進路ガイダンス等の企画）